

KUMAMOTO

GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin

Kumamoto green rotary-club district 2720 rotary international

国際ロータリー 「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」

R.I.会長 シェカール・メータ

地区方針

「ロータリーのパワーは親睦が生み出す！
あらゆる場を親睦の機会に～話しかけよう～」

R.I.2720 地区 ガバナー 大森克磨

熊本グリーンRC

「繋げよう・伝えよう 希望を！」

熊本グリーンRC会長 田中純司



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021～
2022年度
テーマ

■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：田中純司 ■幹事：田中慎二 ■会報担当：江上泰弘
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

第1418回

令和3年8月2日

2021 - 2022 年度 第5回

【例会】

★コロナウイルス感染防止の為、ロータリーソングは「マスク着用」にて歌唱します。

- ・君が代(第1週目)
- ・「友と語ろう」(熊本グリーンRCの歌)

1. 閉会・点鐘 18:30

2. 本日は食事なし例会です。

(ホテルキャッスルのギフト券を代わりに配布します。)

来訪者紹介 (田中純司 会長)

友情の握手

*今年度より「肘タッチ」を行います。

会長スピーチ (田中純司 会長)

シェカール・メーターRI 会長は会員増強に力を入れておられます。一度お話ししたと思いますが、ロータリーの会員数は120万人のまま17年間以上横ばいで、こ

れを130万人に増やすことを目標にしています。「each one, bring one」として、各ロータリアンが新会員1人を入会させるようお願いされています。

今日の卓話の時間は会員増強クラブフォーラムの予定ですが、都合により、時間短縮でお願いします。

コロナ感染症の新規感染者が急速に増加傾向にあり、(熊本県リスクレベル5厳戒警報)に重ねて先週の7月28日に「熊本蔓延防止宣言」が発出されました。この時点では、感染症リスクの高い人に対して不要不急の外出を控える要請が出ました。これを受け感染防止対策として、今日の例会は食事なし(食事券の配布)とスクール形式の座席とさせていただきました。さらに7月30日にこれが更新され、不要不急の外出を控える要請が全ての人に対してとなりました。今後の例会については、本日、臨時理事会を開催させていただき、検討をお願いします。

グリーンロータリー・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。

というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

卓話予定

- 9/13 大森克磨ガバナー公式訪問例会
- 9/20 祝日(敬老の日)の為、休会
- 9/27 本田 悟士会員
- 10/4 (株)バランスネットワーク 社長 古藤 靖典 氏(予定)

【熊本グリーンRC ホームページアドレス】 <http://www.kg-rc.com/>

今後も機会を見て、奉仕活動や行事の紹介をしたいと思います。

幹事報告 (田中 慎二 幹事)

[例会変更・取り止め]

<例会取り止め>

以下の例会は、定款第7条第1節に基づき、取り止めます。

[熊本西稜 RC] 8月16日(月)

[熊本南 RC] 8月2日(月)と8月16日(月) *サインメーカーキャップは行いません。

[熊本西 RC] 8月3日(火)

[熊本江南 RC] 8月4日(水)

[熊本菊南 RC] 8月11日(水)

サインメーカーキャップは行いません。

[熊本西稜 RC]

8月2日(月)の例会は、ZOOM例会に変更。

[熊本西 RC]

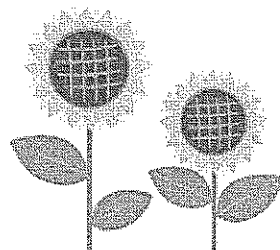
8月3日(火)の例会は、オンライン例会に変更。

[熊本菊南 RC]

8月4日(水)の例会は、オンライン例会に変更。

[熊本西南 RC]

8月5日(木)の例会は、オンライン例会に変更。



出席報告

(山下佳介クラブ管理運営 出席担当長)

	会員総数	22名	出席率
8月2日	出席免除会員数	1名	57.14%
	計算上会員数	21名	
	出席会員数	12名	
7月5日	前回の出席会員数	13名	71.43%
	メイクアップ数	2名	
	修正出席会員数	15名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
<ul style="list-style-type: none"> ・6/30 熊本グリーンローターアクト 荒木 君 ・7/29 熊本東RC 大友 君 			

慶 事

(クラブ管理運営委員長 河野 景治 会員)

★8月誕生祝い

上田 美沙子さん 8月14日

田中 悦子さん 8月29日



ロータリーで広がった子ども支援活動

「子ども食堂をやりたいけど、自分ではできないなあ～、そうだ！それなら、子ども食堂の支援をやろう！」そう思い立ったのが4年前。愛知県内の子ども食堂運営者さんたちのネットワークを支える形で、「ロータリー地域社会共同隊」(Rotary Community Corps、略称RCC)を結成しました。今では、子ども食堂のみならず、学習支援団体、ひとり親支援団体、生活困窮者支援団体や行政などとも連携して、子どもの貧困や教育格差に立ち向かう奉仕活動を行っています。

2020年のコロナ禍の中、この奉仕活動は大きく広がりました。子ども食堂は、フードパントリーや宅配弁当などで、地域の食を支えるようになったのです。そのためには、たくさんの食料支援が必要でした。さあ、ロータリークラブの出番です！

私が所属している国際ロータリー第2760地区(愛知県全域)すべてのクラブに、「食料支援のお願い」を送ったところ、たくさんの食料品が次から次へと届き、子ども食堂から地域の方々へ配られました。今でも食料支援は続き、ありがたいことに、



クラブを越え、分区を越え、どんどん規模が大きくなっています。例会が休会になった資金を充ててくださったクラブ、毎週冷蔵便でお惣菜を配達して下さる食品メーカーのロータリアン、毎月たくさんのお米を送って下さるロータリアン有志の会、季節ごとの高級お菓子を送って下さるお菓子メーカーのロータリアンなど.....。ロータリークラブのありがたさ、ロータリアンの友情に感謝の日々です。子ども食堂や学習支援の運営者さんからは、「ロータリークラブのおかげで活動を続けられる」といった感謝のお言葉もたくさんいただき、奉仕活動の原動力となっています。

現実にひそむ「子どもの貧困」

ここ数年、マスコミでも「子どもの貧困」が取り上げられるようになりました。厚生労働省の国民生活基礎調査によると、2018年の子どもの貧困率は13.5%、なんと7人に一人のお子さんが、目安とされる基準を下回る困難なご家庭で暮らしているのです。その基準というのは、『世帯所得の中央値の半分』ですから、実際には、この数字に現れないご家庭でも、厳しい生活をなさっている方がとても多いと感じています。

そして、悲しいことに、経済的な貧困は、“経験の貧困”をも引き起こしています。家族での海水浴やバーベキューなどの経験がないお子さんも多いのです。そこで、今年3月、ロータリー財団の地区補助金を活用して、『農業体験とバーベキュー』を行い、子ども食堂とつながりのあるお子さんたちを招待しました。「母と子だけでは、バーベキューをしたことがないから、とっても楽しかった」など、たくさんの感想が寄せられて、お子さんたちの心に少しは寄り添うことができたかなと感じております。

「愛知子ども応援プロジェクト」に生まれ変わる

これまで、「ロータリー地域社会共同隊(RCC)」として活動してきましたが、活動範囲が広がるにつれ、RCCとしての活動の枠を越えるようになりました。このため、これからはRCCとして築いてきたこの支援ネットワークを生かし、「愛知子ども応援プロジェクト」としてもっと積極的に活動を行っていくこととなりました。

現在は、約160名の心強い地域ボランティアがいます。地域に寄り添うボランティア、情報を持つ行政、支援するロータリー。この協力体制がとても大切です。食料支援はもちろんのこと、進学支援・就業支援にも取り組んでいきます。きちんとした教育を受けられず、満足な仕事に就けない「負の連鎖」から、ひとりでも多くのお子さんを引っ張り出してあげたいと考えています。

先進国における「子どもの貧困」は、見えづらいのが現実です。“赤信号・黄色信号”のお子さんも、“青信号”のふりをして、我慢して頑張ってしまう。皆さんの近くにも、そんなお子さんがいらっしゃるかもしれません。気になるお子さんがいたら、近くの子ども食堂を教えてください。そして、子ども食堂をぜひ、支えてあげてください。キーワードは「つながり」です。一つひとつの小さなつながりが、大きな輪になっていくことを願っています

スマイル

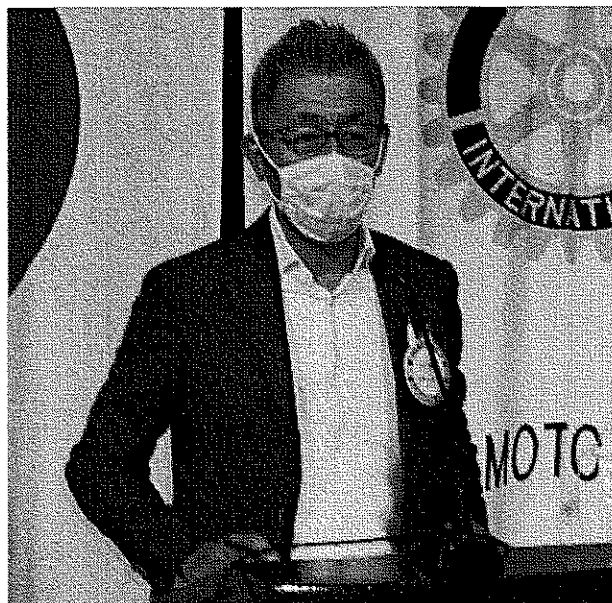
(クラブ管理運営出席担当 山口 翼会員)

●田中 純司 君、田中 慎二 君
「オリンピックの日程も折り返し、日本も金 17 と大健闘しています。昨日の男子ゴルフも、ジタンダ踏みながら観戦された方も多かったのではなかったでしょうか。結果はどうあれ、選手の頑張りでパワーと勇気をもたらせてます。残り半分、頑張り日本を祈念しましてスマイル致します。」

●上田 観一 君、江上 泰弘 君、荒木 一之 君
①「会員増強、山下委員長本日宜しくお願い致します。貴方が頑張れば 30 名達成できると信じています。」
②「皆さんこんばんは、本日は妻の誕生祝いを頂きありがとうございます。」(上田)

3. 例会プログラム

山下佳介会員増強委員長による
会員増強クラブフォーラム



山下佳介会員増強委員長



ソーシャルディスタンスを考慮して
席もスクール形式で開催

★ロータリーニュース

『子ども食堂とともに歩むロータリークラブ』

投稿日: 7月19日, 2021 寄稿者: 藤野直子(名古屋名東ロータリークラブ会員)

皆さんは、「子ども食堂」をご存知ですか? 「夏休みに、一日の食事がバナナだけ」というお子さんがいることを知った東京都大田区の八百屋さんが、ご飯を食べさせてあげたことから「子ども食堂」は始まりました。それから9年、今では日本中に、約5000カ所もの「子ども食堂」ができました。地域のボランティアグループなどが運営する子ども食堂では、無料または安い金額で食事を用意しています。本当に空腹なお子さんもいれば、わいわい楽しいから来るお子さんもいます。「子ども食堂が、唯一の夕食」というシングルマザーの親子も来ます。「一人で食べるご飯はつまらない」と言って、子ども食堂のボランティアをしてくれるおじいちゃんもいます。学校には足が向かない中学生がお子さんの遊び相手になってくれたり、大学生が宿題を教えたり、それぞれの思いやりと優しさが集まって「心休まる居場所」となっているのが「子ども食堂」なのです。

